

縫工・手芸訓練

縫工では、まず以下のような基礎技能を習得するよう訓練します。(この訓練には男子も参加します)

なみ縫い、手縫い雑巾づくり、ボタン付け、スナップ付け、カギホック付け、まつり縫い、刺し子布巾、ミシンから縫い、ミシン糸掛けなど

次に、習得した基礎技能を生かして、レッスンバック、ポーチ、ナップザック、小袋、マスクなどの作品づくりに進みます。

一方、手芸では、くさり編み、細編み、長編みなどの基本を習得し、コースター等の作品づくりに進みます。

縫工・手芸訓練では、手順通りに動かせる手指の巧緻性、確実性のほか、長時間作業に集中できる体力・持続力等が養われます。

また、一手間違えると、その後の作業がすべて無駄になり、やり直すことになるため、手順通りに作業できているかどうか自己点検する力(注意力)が身についてきます。

なお、この訓練では、針、ハサミ、安全ピン、ミシン、アイロンなど取り扱いに注意が必要な道具を使用することから、折に触れ注意を促すなどにより、安全意識の高揚を図っています。